

令和4年度 社会福祉法人 玉峰会 事業報告書

令和4年度は全国的にコロナウイルス感染が猛威を振るい社会福祉施設においても施設内でのクラスター発生事例が多数見られた。当法人の特別養護老人ホーム牧水園においても令和5年1月にクラスターが発生し運営に大きな支障をきたすこととなった。

当法人においては、感染防止のため部外者の立ち入り制限や職員の抗原検査実施及び健康チェックを厳格に行うとともに、施設内消毒・換気の励行を徹底していただけない限り、残念な結果となった。

これにより、収入は利用者の受け入れを一時期停止したことにより減少し、費用はクラスター対応による経費の負担が増大したため、予定した事業活動収益を確保できなかった。

施設整備においては、旧棟の改修を検討していたが、コロナ禍の中で内部改修は見送ることとし、屋上の防水工事や外装の塗装・洗浄など外回りの改修に着手し実施した。また、感染症対応強化のため、療養室の一室に陰圧装置を設置し隔離室として整備し、感染症が発生した場合の早期対応の強化を図った。上記の整備については積立金を取り崩さず実施したため、最終的な資金収支差額は赤字を計上することとなった。

職員の資質向上については、外部研修の自粛中止を受け、リモート研修へ移行し、新たな研修計画に基づき研修受講を促し、資質の向上に努めた。

デイサービスで実施している地域住民の引きこもり防止のための送迎付き自費サービス「輪っはっは」は利用者が多く好評であり、地域の憩いの場として活力の維持に効果を発揮している。また、日向市社協と連携し実施している「買物ツアー」も移動手段の脆弱な東郷地区において効果を発揮している。今後も、地域住民のニーズに沿った介護予防事業を展開していきたい。

日向市から委託を受けて 11 年間運営していた東郷地域包括支援センターについては、職員退職後の補充が困難であり、事業運営継続に支障をきたすこととなった。よって、令和 5 年 3 月をもって委託契約を終了することとした。なお、令和 5 年度からは、他法人が日向市より受託し継続運営することとなった。

今年度は、コロナ感染の影響を受け法人の運営に大きな痛手を被ることとなった。これを糧に感染の未然防止策や早期対応手段の徹底を図り、感染症対策に万全を期していきたい。

当法人としては、中山間地である東郷町住民において求められているニーズを模索し、法人資源を活用しながら独自の地域貢献事業を通して地域住民ができるだけ長く自立した生活が継続できるよう貢献していきたい。